

令和元年度 出資法人経営評価表

法人名	滋賀県道路公社
-----	---------

1 人員、県の人的関与の状況

(単位：人)

① 役員		29年度	30年度	29→30増減	令和元年度			
理事総数		3	3		3			
うち県職員（特別職を含む。）		1	1		1			
うち県退職職員（OB）		2	2		2			
うち常勤役員数		3	3		3			
うち県職員（特別職を含む。）		1	1		1			
うち県退職職員（OB）		2	2		2			
監事総数		2	2		2			
うち県職員（特別職を含む。）								
うち県退職職員（OB）								
うち常勤監事数								
うち県職員（特別職を含む。）								
うち県退職職員（OB）								
常勤役員		61.0	60.7	△ 0.3	60.7			
平均年齢								
常勤役員		4,989	5,165	176	5,136			
平均報酬（年額）（千円）								
役員		15,032	15,559	527	15,471			
報酬総額（年額）（千円）								
② 職員		29年度	30年度	29→30増減	令和元年度			
職員総数		26	29	3	34			
常勤職員		21	23	2	27			
プロパー職員		7	7		9			
うち県退職職員（OB）			1	1	4			
県等からの派遣職員		11	14	3	15			
うち県派遣職員		11	14	3	14			
臨時・嘱託職員		3	2	△ 1	3			
うち県退職職員（OB）								
非常勤職員		5	6	1	7			
うち県派遣職員								
うち県退職職員（OB）		1	1		2			
プロパー職員		56.3	56.7	0.4	57.7			
平均年齢								
プロパー職員		4,104	4,495	391	4,122			
平均給与（年額）（千円）								
職員		98,858	84,489	△ 14,369	109,096			
給与総額（年額）（千円）								
プロパー職員の年代別職員数		10代	20代	30代	40代	50代	60代～	合計
(令和元年度当初実数)					4	5	9	

2 県の財政的関与の状況

(単位：千円)

項目		29年度	30年度	29→30増減	令和元年度	備考（R1内訳）
県からの年間収入額	補助金	事業費補助金				
		運営費補助金				
	委託料					
	その他					
補助金等合計						
年度末残高	県からの借入金					
	県からの損失補償・債務保証					
短期貸付金の金額（期間中の県からの借入れで、同一年度に貸付けと返済の双方が行われるもの）						

3 評価

区分	評価項目	評価内容	該当項目に○			出資法人の所見	県の所見
			28	29	30		
効果性	中期経営計画、年度目標の策定	中期経営計画、年度目標とも策定している。 中期経営計画のみ策定している。 年度目標のみ策定している。 策定していない。	○	○	○	琵琶湖大橋第6期事業で、関係機関との調整に時間を要し、目標に満たない項目が生じたが、ETCは計画より2か月前倒して供用を開始することができた。大津港駐車場については、利用促進の施策を実施したものの、周辺需要環境に好転の兆しが見られず、駐車台数の増につながっていない。今後とも、経営計画に定めた成果目標を達成することで、管理する有料道路等の機能維持・向上を図り、交通の円滑化を通じ、県民生活の向上と経済活動の発展に寄与していく。	・中期経営計画および年度目標が的確に実施されるよう求めていく。
	事業活動の社会情勢への適合性	全ての事業が社会情勢に適合し、その意義は大きい。 社会情勢に照らして意義が薄れてきた事業がいくつかある。 社会情勢に照らして意義の薄れてきた事業が多くある。	○	○	○		
	活動の成果の達成度	活動について成果目標を定め、目標以上に達成している。 活動について成果目標を定め、目標どおり達成している。 活動について成果目標を定め、概ね目標どおりに達成している。 活動について成果目標を定め、達成しているものもあるが、十分ではない。 活動について成果目標を定めていない。	○		○		
	住民、関係者等のニーズの把握状況	多様な調査を実施し、積極的にニーズの把握に努めている。 ニーズを把握するための手段を講じている。 具体的な取組はしていない。	○	○	○		
効率性	経常費用に占める管理費の状況	管理費比率が2期連続で減少した。 管理費比率が前期に比べ減少した。 管理費比率が前期に比べ増加した。 管理費比率が2期連続で増加した。		○		当期はETC供用開始に伴い、システム利用にかかる経費が新たに発生した。今後とも、効率的な運営を図るため、体制面では事業規模に応じた体制見直しに努め、事業費面では管理する施設の長寿命化修繕の計画的な実施を進めていく。	・ETC供用開始により管理費比率は前期に比べ増加している。引き続き効率的な管理運営を求めていく。
	経常収益・費用の比率	経常収益が2期連続で経常費用を上回った。 経常収益が、当期は経常費用を上回った。 経常収益が、当期は経常費用を下回った。 経常収益が、2期連続して経常費用を下回った。	○		○		
健全性	債務超過の状況	当期末において債務超過でない。 2期連続で改善した。 前期に比べ改善した。 前期に比べ悪化した。 2期連続で悪化した。	○	○	○	当期純利益の状況は琵琶湖大橋有料道路附帯事業施設の大規模修繕の実施により年度間変動は見られるが、各指標において経営の健全性を確保している。琵琶湖大橋有料道路第6期事業の実施についても、計画的な執行により健全な財務状況が維持できるよう努めていく。	・健全な財務状況が確立できている。 ・琵琶湖大橋有料道路第6期事業が進展する過程において、健全な財務状況が確保できるよう、適時適切な指導・助言を行っていく。
	当期純利益の状況	2期連続で増加した。 前期に比べ増加した。 前期に比べ減少した。 2期連続で減少した。		○	○		
	累積欠損金の状況	当期末において累積欠損金はない。 累積欠損金は、2期連続で減少した。 累積欠損金は、前期に比べ減少した。 累積欠損金は、前期に比べ増加した。 累積欠損金は、2期連続で増加した。	○	○	○		
	短期的支払い能力の状況	流動比率は、2期連続で100%以上であった。 流動比率は、当期は100%以上であった。 流動比率は、当期は100%未満であった。 流動比率は、2期連続で100%未満であった。	○	○	○		
	借入金依存率の状況	当期末において借入金は無い。 2期連続で低下した。 前期に比べ低下した。 前期に比べ上昇した。 2期連続で上昇した。	○	○	○		

区分	評価項目	評価内容	該当項目に○			出資法人の所見	県の所見				
			28	29	30						
自立性	知事・副知事の代表者への就任状況	知事・副知事が法人の代表者へ就任していない	○	○	○	-	-				
		知事・副知事が法人の代表者へ就任している									
	県派遣職員の状況	当期末において県派遣職員はない						プロパー職員の減少に加え、琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な実施には、県からの人的・技術的な支援が不可欠であり、県との連携を緊密にし、事業進捗に応じた体制維持に努める。	琵琶湖大橋有料道路第6期事業の推進には、プロパー職員のみでの対応では困難であり、人的・技術的支援の継続は、やむを得ないものと考えている。		
		常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ低下した。									
	県退職職員の就任状況	当期末において県退職職員はない								自主事業収益比については、利息収入等の業務外収入による年度間変動は見られるが、実質的には、前年度と同水準であり、自立的な経営を推進している。	県からの財政支出もなく、外部からの借入金もないため県の損失補償等の必要もない。財務的には極めて自主性の高い経営を実現している。
		常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ低下した。									
県財政支出の状況	当期末において県の財政支出はない。	○	○	○	県からの財政支出もなく、外部からの借入金もないため県の損失補償等の必要もない。財務的には極めて自主性の高い経営を実現している。	県からの財政支出もなく、外部からの借入金もないため県の損失補償等の必要もない。財務的には極めて自主性の高い経営を実現している。					
	経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で低下した。										
短期貸付金の金額(期間中の県からの借入れで、同一年度に貸付けと返済の双方が行われるもの)の状況	当期中において県の短期貸付けはない	○	○	○			財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。			
	県の短期貸付けの額が2期連続で減少した。										
損失補償等の状況	当期末において県の損失補償・債務保証はない	○	○	○					財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。	
	県の損失補償・債務保証の額が2期連続で減少した。										
情報公開規程の整備状況	規程を整備している。	○	○	○	財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。					
	規程を設けていない。										
情報公開の実施状況	ホームページ等により不特定の者に対し情報公開を行っている。	○	○	○			財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。			
	不特定の者に対し情報公開を行っていない。										
会計専門家の関与状況	作成した財務諸表について、会計監査人監査を受けている、または、財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けている。	○	○	○					財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。	
	会計の専門家による監査・指導・助言等は受けていない。										
業務監査の実施状況	業務監査を実施している。	○	○	○	財務諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織および活動内容について、自主的に運営するホームページを通じ情報提供に努めている。	引き続き外部監査の結果を踏まえた財務状況の開示等、透明性の確保に努めるよう、指導していく。					
	業務監査を実施していない。										

	出資法人の総合的評価・対応	県による総合的評価・対応		
事業に関する事項	琵琶湖大橋第6期事業で、関係機関との調整に時間を要し、目標まで達成していない項目が生じた。実施体制の強化を図り、事業に遅れが生じないように努める。 大津港駐車場については、周辺需要環境に好転の兆しが見られず、駐車台数の増につながっていない。引き続き利用促進に努めつつ、経営改善に繋がる管理運営のあり方を検討していく。	大津港駐車場については、より利用しやすい駐車場とするため、改善策を検討、実施し、積極的な広報、販売促進活動に取り組むよう、指導していく。		
財務に関する事項	財務状況は良好で、琵琶湖大橋有料道路第6期事業の執行にも支障のない状況にある。今後とも、管理している有料道路等の改築、維持管理について、計画的な実施により健全な財務状況が維持できるよう努めていく。	・良好な財務状況を維持し、琵琶湖大橋有料道路第6期事業が、円滑に進捗するよう指導していく。		
行政経営方針実施計画に関する事項 ※実施計画は次頁参照	おおむね中期経営計画の通り進捗しているが、国道477号の4車線拡幅事業の用地測量は一部公図訂正が必要となったため、未完了となった。また、建物調査は、権利者への説明、協力依頼に努めたが、協力が得られない箇所が未完了となった。 未完了の部分について進捗管理を行うとともに、鑑定評価、建物補償額算定を終え、用地交渉に着手していく。	・琵琶湖大橋有料道路第6期事業の実施を含め利用者へのサービス向上、健全経営の維持、強固な経営基盤の確立のため、技術的支援等を行い、中期経営計画に基づく取り組みが着実に実施されるよう求めていく。		
	実施計画に定める「具体的な取組内容」の進捗状況		実施計画に定める「具体的な取組内容」の進捗状況	
	琵琶湖大橋有料道路第6期事業の実施を含め利用者へのサービスの向上を図るとともに、健全経営を維持し、強固な経営基盤を確立するため、平成29年度から平成31年度までを対象として策定している「中期経営計画」に基づく取組みを進めた。		-	
	実施計画に定める目標	実績	実施計画に定める目標	実績
琵琶湖大橋有料道路 ①琵琶湖大橋基礎部耐震対策 ②国道477号の4車線拡幅 ③ETCの導入	①詳細設計・補償調査の完了 ②用地測量委託業務(L=2500m)、建物調査の発注、分筆に必要な筆界確認書の作成、公図訂正書類の作成 ③ETC供用開始(H31.2～)	-	-	
大津港駐車場 利用促進の取り組み	新価格プリペイドカード販売(H29.9月～897枚) 案内看板の更新			
道の駅びわ湖大橋米プラザ 空調設備更新(3台)	3台更新完了			
総合所見	管理する有料道路および駐車場の改築、維持管理を行うことにより、基幹道路交通の円滑化を図るなど、県の道路行政の一端を担うとともに、県民生活の向上と経済活動の発展に役割を果たしている。 引き続き、効果的な改築と良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を償還していく。 なお、プロパー職員の減少から、今後本格化する琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な実施には、県の人的、技術的支援が不可欠であり、県との協議、連携を緊密にしていく。	・管理する有料道路および駐車場の改築、維持管理を行うことにより、基幹道路交通の円滑化を図るなど、県の道路行政の一端を担うとともに、県民生活の向上と経済活動の発展に役割を果たしている。 ・琵琶湖大橋有料道路第6期事業の円滑な実施に向けて、人的・技術的支援等で連携を密にしていく。		

行政経営方針実施計画(平成27年度～平成30年度)

出資法人の基本方針						
琵琶湖大橋有料道路については、現許可における料金徴収期限は平成33年度までですが、財務状況のみで判断するとすでに償還が可能な状況にあります。今後の建設有料事業の運営と維持管理について、「琵琶湖大橋有料道路のあり方に関する研究会」の「まとめ」を参考に県として方針を示すこととしており、当該方針を踏まえて対応します。						
具体的な取組内容	(平成26年度)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標
① 現在検討を進めている琵琶湖大橋有料道路のあり方の検討を踏まえて対応します。【出資法人】	琵琶湖大橋有料道路のあり方の方針決定	方針の内容を踏まえて対応		次期中期経営計画に基づく取組の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・公社運営方針の決定 平成27年度 ・管理区間の橋梁補修工事の実施 吉身跨線橋の補強 平成28年度 ・中期経営計画の策定 平成28年度

行政経営方針実施計画(令和元年度～令和4年度)

基本的な考え方 (現状認識・今後の方向性)		当社は、有料道路等を借入金で建設し、供用後は利用者からの料金で維持管理をしている。このため、良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を確実に償還していく。				
具体的な取組内容	(平成30年度) (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	目標
1 琵琶湖大橋有料道路第6期事業の着実な実施に取り組む。【出資法人】	ETCの整備	4車線化拡幅(用地の取得促進、工事の実施)			事業計画の評価・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖大橋有料道路第6期事業 事業計画の見直し 令和4年度(2022年度)末 ・長寿命化計画の見直し 琵琶湖大橋 令和3年度(2021年度)末 其他の橋梁 令和元年度(2019年度)末
2 良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供に取り組む。【出資法人】	長寿命化計画に基づく効率的・効果的な修繕の実施					<ul style="list-style-type: none"> ・大津港駐車場の収支改善策の検討・実施 令和4年度(2022年度)(継続)
	長寿命化計画の見直し (其他の橋梁)	長寿命化計画の見直し (琵琶湖大橋)				
3 大津港駐車場の利用促進等による収支改善に取り組む。【出資法人・県】	収支改善策の検討・実施					<ul style="list-style-type: none"> ・次期中期経営計画の策定 令和元年度(2019年度)末
4 次期中期経営計画を策定する。【出資法人】	次期中期経営計画の策定	次期中期経営計画に基づく取組の実施				

【参考資料】

財務諸表等へのリンク

<http://www.shiga-dourokousha.or.jp/annai/index.html>